

## 代々木プレイス

名称:代々木プレイス  
 所在地:東京都渋谷区  
 施工:(株)浅沼組  
 設計:(株)浅沼組東京本店一級建築士事務所  
 事業者:東急不動産株式会社  
 竣工:2007年3月  
 建物構造:鉄骨造 地上10階  
 延床面積:4,464.18m<sup>2</sup>

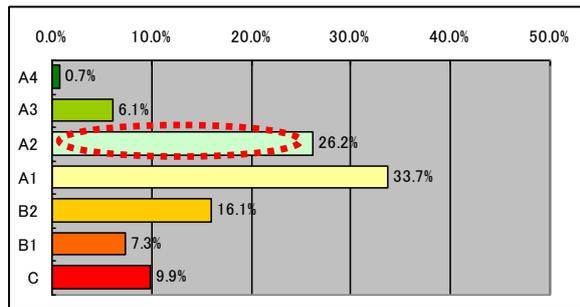


建物外観(代々木プレイス)

### CO<sub>2</sub>排出実績

平成 21 年度 240t

延床面積あたりのCO<sub>2</sub>排出原単位  
 (240t/4,464.18m<sup>2</sup>) × 1,000  
 = **53.7kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>2</sup>**



中規模テナントビルのベンチマーク(延床面積 3,000m<sup>2</sup>以上、10,000m<sup>2</sup>未満)

レンジ	基準	排出原単位(kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> )範囲	割合
A4	0.25 以下	19.6 以下	0.7%
A3	0.25 超-0.50 以下	19.6 超 - 39.1 以下	6.1%
A2	0.50 超-0.75 以下	39.1 超 - 58.6 以下	26.2%
A1	0.75 超-1.00 以下	58.6 超 - 78.1 以下	33.7%
B2	1.00 超-1.25 以下	78.1 超 - 97.7 以下	16.1%
B1	1.25 超-1.50 以下	97.7 超 - 117.2 以下	7.3%
C	1.50 超	117.2 超	9.9%
		平均排出原単位	合計
		78.1	100%

CO<sub>2</sub>排出原単位53.7kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>2</sup>は、低炭素ビルベンチマーク(中規模テナントビル)では、A2となる二酸化炭素排出の少ないビルです。

## ビルの環境性能の向上に向けた取組み

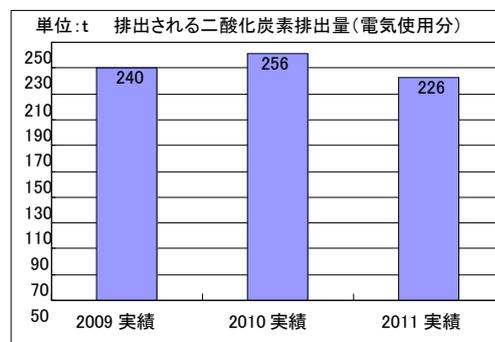
### 代々木プレイスビルにおける環境性能

代々木プレイスは、2007年竣工という新しいビルであり、ビルの設計段階から環境に配慮した取組みを行ってきました。

外壁には硬質ウレタンフォーム等の断熱材や、窓面に熱反射ガラスやブラインドを設けることで日射侵入率の低減・断熱性能の向上を図り、空調設備にはインバータ機器やサーモ制御換気等を採用することによりエネルギーの効率利用を図っています。

こうした設備等の採用により、執務環境を損なわずに、当社の従来の平均的ビルより省エネルギー化を推し進めたオフィスビルを実現しています。

代々木プレイスでは、設計段階からビルの環境性能を高めただけでなく、運用段階においても、テナントサービスレベルを維持しながらの共用部の節電や専用部についても各テナントに節電方法等のパンフレットを作成・配布し、ビル全体で省エネルギーに取り組んでいます。



## 環境性能の向上に向けた取組み

東急不動産㈱では地球環境保全を重要な経営課題と位置づけており、2011年に東急不動産グループ「環境ビジョン」を制定し、次の5つの環境課題に取り組んでいます。

- ① CO<sub>2</sub>削減
- ② 生物多様性保全
- ③ 水資源保全
- ④ 省資源
- ⑤ 健康配慮

さらにCO<sub>2</sub>削減に向けた現状分析・エネルギー使用量の「見える化」を推進し、自発的かつ具体的な行動が取れるように、保有施設についてエネルギーデータの集計システムを導入しました。

また2010年には、当社の住宅・オフィスビルはじめ各事業のCO<sub>2</sub>削減や緑化等の幅広い取り組みが評価され、当社はUNEP(国連環境計画)の特別協賛サポーターとして認められました。引き続き環境保全活動をサポートしていきます。

これらの取り組みにおいてさまざまなアクションを社会の皆さまと協働して行うことで、環境保全活動の一層の推進と継続をめざします。